

# 令和3年度事業計画

公益財団法人 淡海文化振興財団

## 1 基本方針

当公益財団（愛称：淡海ネットワークセンター。以下「センター」という。）は、設立以来「新しい淡海文化の創造」で提唱された、自然と共生し、伝統的な生活文化の中で取り組む未来に価値ある地域づくりを進めるために、「情報提供」、「組織基盤強化」、「市民活動支援」、「人材育成」および「未来ファンドおうみ」の事業を通じ、県民一人ひとりの主体的な社会的活動を支援してきた。

県内の市民活動を取り巻く環境は、NPO法の施行から22年が経過し、多くのNPO法人は「資金調達・確保」や「人材の不足・育成」さらには「情報発信力」等運営上の課題を抱える状況にあり、安定かつ継続可能な事業展開のための財源や人材の確保とともに、組織運営のマネジメント力が求められている。加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大は、市民活動に大きな影響を及ぼしており、コロナ禍における市民活動が今後どのように展開していくのかという視点も重要となる。

センターは市民活動団体、NPO等（以下「NPO等」という。）の組織基盤の強化や運営のサポートについて、関係機関と連携した相談業務や講座等の開催、NPO等が行う事業を適切に評価する「社会的インパクト評価」の普及に取り組む。

さらに、創設11年目となる「未来ファンドおうみ」において、新型コロナウイルス感染症の影響により困難を抱える人々の支援に取り組むなど、市民や企業等の寄附者のニーズに沿った多様な基金運営やセミナーの開催等を通じて寄附文化の醸成に努める。

## 2 事業計画

### (1) 情報提供事業

#### ア 情報交流誌「おうみネット」の発行

話題性とメッセージ性を重視した特集記事と活動団体の紹介記事を軸に、センター事業などの情報を提供するとともに、市民活動を応援する企業等の周知を目的に企業広告の掲載を行う。

#### イ NPO等データベースの整備

NPO等に関する活動内容等の情報をデータベース化して、センターでの情報提供に活用する。

#### ウ 情報・資料の収集と閲覧・貸出

地域づくり、人材、NPO等、国や自治体の施策、助成団体等の情報を収集し、提供する。

#### エ インターネットの活用

センター情報や助成金情報などをホームページ、facebookを通じて発信する。

#### オ メールマガジン「おうみネットe～マガジン」の配信

NPO等にイベント、助成金、センター事業等の情報提供を行う。

### (2) 市民活動支援基盤強化事業

#### ア 組織基盤強化事業

##### (ア) 相談業務

団体の運営、法人の設立、多様な事業からの収入を得るための事業化等の組織運営全般に関する相談に対応するとともに、専門性の高い相談に応じる体制をつくる。また、NPO法人の認定取得に関する相

談・指導業務を強化する。

(イ) NPO等サポート業務

専門家や行政等のネットワークと連携し、NPO等の運営を支援していく。また、助成団体の運営等に関して、職員が直接団体を訪問し、さらに必要な場合は適切な専門家を団体に派遣するなど、事業継続のためのサポートを行う。

(ロ) NPO講座

NPO法人の設立手続、運営や会計についての講座を開催する。

(エ) 「社会的インパクト評価」普及促進事業

NPO等の活動が生み出す「社会的価値」を「可視化」し、これを「検証」し、資金等の提供者への説明責任につなげていくとともに、評価の実施により組織内部の運営力強化に資するため、「社会的インパクト評価」の普及に取り組む。

イ 市民活動支援事業

(ア) 市民活動フォーラムの開催

社会を取り巻く環境の変化と課題を見据えて、滋賀の市民活動の活性化と多様な主体の交流を促進するためのフォーラムを開催する。

(イ) 市民活動支援連携事業

オンライン等も活用してセンターと市民活動支援センターのスタッフが相互研修や情報交換を行うことにより、相互の機能強化を図る。

(ロ) 研修事業

協働に対する理解を深める機会を提供することにより、行政、NPO等、企業等の協働を促進する。

(エ) 「市民活動ふらっとルーム」の運営

人と情報の交流促進を図る「市民活動ふらっとルーム」を運営する。

(3) 人材育成事業

ア 「おうみ未来塾」の運営

地域づくりや環境保全活動などの行政等だけでは解決できない地域課題に取り組む人材（地域プロデューサー）を養成する「おうみ未来塾」（第16期生、1年目）を運営するとともに、卒塾生との連携促進を図る。

(4) 「未来ファンドおうみ」の運営

新たに、新型コロナウイルス感染症の影響により、困難を抱える人々の支援に取り組む事業を加え、助成団体の活動を支援する。セミナーの開催等により寄附文化の醸成に努めるとともに、関係団体への広報や寄附付き商品「おうみ良うなる！元気商品プロジェクト」を展開していく。

# 収 支 予 算 書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	85	85	—	
受取会費	270	270	—	
事業収益	890	1,029	△ 139	
受取補助金等	47,874	46,800	1,074	
受取寄付金	3,782	2,616	1,166	
経常収益計	52,901	50,800	2,101	
(2) 経常費用				
事業費	45,807	45,393	414	
管理費	7,168	6,679	489	
経常費用計	52,975	52,072	903	
(うち人件費)	29,707	26,634	3,073	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 74	△ 1,272	1,198	
評価損益等計	—	—	—	
当期経常増減額	△ 74	△ 1,272	1,198	
当期一般正味財産増減額	△ 74	△ 1,272	1,198	
一般正味財産期首残高	3,331	3,499	△ 168	
一般正味財産期末残高	3,257	2,227	1,030	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
特定資産運用益	1	1	—	
受取寄付金	1,800	1,800	—	
一般正味財産への振替額	△ 3,782	△ 2,616	△ 1,166	
当期指定正味財産増減額	△ 1,981	△ 815	△ 1,166	
指定正味財産期首残高	68,231	67,238	993	
指定正味財産期末残高	66,250	66,423	△ 173	
<b>III 正味財産期末残高</b>	69,507	68,650	857	

# 収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	43	—	42	—	85
受取會費	270	—	—	—	270
事業収益	890	—	—	—	890
受取補助金等	40,766	—	7,108	—	47,874
受取寄付金	3,782	—	—	—	3,782
経常収益計	45,751	—	7,150	—	52,901
(2) 経常費用					
事業費用	45,807	—	—	—	45,807
管理費用	—	—	7,168	—	7,168
経常費用計	45,807	—	7,168	—	52,975
(うち人件費)	25,795	—	3,912	—	29,707
評価損益等調整前当期経 常増減額	△ 56	—	△ 18	—	△ 74
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 56	—	△ 18	—	△ 74
当期一般正味財産増減額	△ 56	—	△ 18	—	△ 74
一般正味財産期首残高	△ 406	—	3,737	—	3,331
一般正味財産期末残高	△ 462	—	3,719	—	3,257
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
特定資産運用益	1	—	—	—	1
受取寄付金	1,800	—	—	—	1,800
一般正味財産への振替額	△ 3,782	—	—	—	△ 3,782
当期指定正味財産増減額	△ 1,981	—	—	—	△ 1,981
指定正味財産期首残高	43,231	—	25,000	—	68,231
指定正味財産期末残高	41,250	—	25,000	—	66,250
<b>III 正味財産期末残高</b>	40,788	—	28,719	—	69,507

# 資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

## 1 資金調達の見込みについて

なし

## 2 設備投資の見込みについて

なし

# 令和2年度事業報告

## 公益財団法人 淡海文化振興財団

当公益財団（愛称：淡海ネットワークセンター。以下「センター」という。）は、設立以来、様々な分野における県民一人ひとりの主体的で自由な意思による社会活動を支援してきたところであり、平成23年4月から公益財団法人に移行し、これまで以上に市民が担い手となる社会づくりを目指す公益性の高い団体として活動してきた。

市民活動団体を総合的に支援する組織として、「情報提供」、「組織基盤強化」、「市民活動支援」、「人材育成」および「未来ファンドおうみ」の5本の事業を柱に、様々な主体のネットワークによる地域づくりの促進に努めた。

令和2年度は中期計画（2020年度～2024年度）に基づき、地域や社会の課題解決に自主的に取り組む市民活動団体・NPO等（以下「NPO等」という。）の支援や、NPO等と自治体、企業、教育機関等の様々な組織や団体とのネットワークを広げ、協働による地域づくりの支援活動を実施した。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、人材育成事業「おうみ未来塾」の第16期生募集の延期や、市民活動ふらっとルームを一時閉鎖したが、新たに「淡海いのちをささえる困窮者支援基金（47コロナ基金）」を創設し、新型コロナウイルス感染症の影響により困難を抱える人々の支援に取り組んだ。

### 1 情報提供事業

#### (1) 情報交流誌「おうみネット」の発行

センターの事業、市民活動に関する動き、意見・提言、NPO等の活動情報等を掲載する「おうみネット」を発行した。

発行部数 10,000部/回 年3回発行（8月・12月・3月）

#### (2) 「未来ファンドおうみ通信」の発行

「未来ファンドおうみ」のPR、助成採択団体の情報、ファンドレイジング事例等寄附文化を育むことを目的に発行した。

発行部数 2,300部/回 年4回発行（8月・11月・12月・3月）

#### (3) NPO等データベースの整備

照会対応や情報提供の際の利便性、センターのサービスの向上を図るため、NPO等の活動内容やこれまでの相談・指導等の情報をデータベース化し、活用した。

#### (4) 情報・資料の収集と閲覧・貸出

市民活動関連の情報発信拠点として、地域づくり、人材、NPO等、国や自治体の施策、助成団体等の情報を収集・提供するとともに、図書および雑誌の閲覧や貸出を行った。

#### (5) インターネットの活用

センターのホームページ、facebookを通じて、センターの事業やNPO等の情報発信を行った。また、利用者の利便性を追究し、ホームページのリニューアルを行った。

ホームページアクセス件数 53,123件（1日平均 146件）

#### (6) メールマガジン「おうみネットe～マガジン」の配信

NPO等に月3回程度、イベント、助成金、センター事業等の情報提供を行った。

配信数 36回 895件／回

## 2 市民活動支援基盤強化事業

### (1) 組織基盤強化事業

#### ア 相談業務

市民や団体の様々な相談に応じる窓口の運営を行った。

相談実績 来所 22件 電話・メール 24件

#### イ NPO等サポート業務

NPO等の運営・事業実施をサポートするため、センター職員が訪問面談を行った。

団体数 15団体 面談回数 延べ 25回

#### ウ NPO講座

NPO等の運営や会計、NPO法人の設立手続等、NPO等の事務力と組織力を高めるための講座を開催した。

開催回数 3回 参加者数 30人

#### エ 「社会的インパクト評価」普及促進事業

NPO等の活動の成果を可視化する「社会的インパクト評価」の普及を図るため、「社会的インパクト評価」オンラインセミナーを2回開催するとともに、理解度を深めるため、参加者を訪問しフォローアップを行った。

第1回開催日 令和3年1月28日 参加者数 16人

第2回開催日 令和3年3月23日 参加者数 13人

### (2) 市民活動支援事業

#### ア フォーラム等の開催

「Withコロナ時代の新しい市民活動」をオンラインにより開催した。

開催日 令和2年12月19日 参加者数 14人

#### イ 市民活動支援連携事業

センターと県内に設立されている市町域の市民活動支援センター等22団体のスタッフが相互の機能を高めるため、情報交換等を行う意見交換会を開催した。

開催回数 3回

#### ウ 研修事業

行政職員等の協働に対する理解を深めるため、県との協働により研修事業を実施した。

開催回数 4回 参加者数 163人

#### エ 「市民活動ふらっとルーム」の運営

会報やチラシづくりの支援のため、印刷機、紙折り機、コピー機等を備えた「市民活動ふらっとルーム（ワークコーナー）」の運営を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月11日から7月21日まで閉鎖したこと等により、利用者数が大きく減少した。

利用実績 83件 117人

## 3 人材育成事業

### (1) 「おうみ未来塾」の開催運営

地域プロデューサー育成を目指す「おうみ未来塾」第16期の開講を予定していたが、新型コロナウイルス

感染症拡大防止のため、1年延期した。延期に伴い、時代のニーズに合ったカリキュラムの見直しや、塾のあり方についての検討を行った。

#### 4 「未来ファンドおうみ」の運営

##### (1) ファンドレイジングオンラインセミナーの開催

開催日 令和3年2月25日 参加者数 38人

##### (2) 2020年度助成事業

「びわこ市民活動応援基金」、「びわ湖の日基金」、「積水化成品基金」、「笑顔あふれるコープしが基金」、「ナカザワNEOフレンドシップ基金」、「げんさん食育NPO基金」、「湖国文学活動応援むらさき基金」および「びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金」助成事業を行った。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、2団体が計画していた活動が実施できず事業を中止した。

びわこ市民活動応援基金2020助成事業 2団体

びわ湖の日基金2020助成事業 1団体

積水化成品基金2020助成事業 1団体

笑顔あふれるコープしが基金2020助成事業 2団体

ナカザワNEOフレンドシップ基金2020助成事業 1団体

げんさん食育NPO基金2020助成事業 1団体

湖国文学活動応援むらさき基金2020助成事業 1団体

びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金2020助成事業 3団体

##### (3) 「淡海いのちをささえる困窮者支援基金（47コロナ基金）」

新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況に直面している方を支えるため、47都道府県「新型コロナウイルス対策」地元基金（47コロナ基金）の取組に参画し、滋賀の基金として「淡海いのちをささえる困窮者支援基金」を創設し、助成事業を行った。

淡海いのちをささえる困窮者支援基金助成事業 1団体

#### 5 賛助会員制度

自主財源の確保を図るため、賛助会員制度により運営を行った。

賛助会員数 個人75人 団体4団体



# 正味財産増減計算書

自 令和 2 年 4 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	85,000	85,000	—
受取会費	271,000	262,000	9,000
事業収益	169,898	903,115	△ 733,217
受取補助金等	45,152,438	47,517,083	△ 2,364,645
受取受託金	—	230,000	△ 230,000
受取寄付金	2,033,779	2,724,624	△ 690,845
雑収益	11,635	3,067	8,568
経常収益計	47,723,750	51,724,889	△ 4,001,139
(2) 経常費用			
事業費用	40,569,472	43,528,358	△ 2,958,886
管理費用	7,749,177	6,866,240	882,937
経常費用計	48,318,649	50,394,598	△ 2,075,949
(うち人件費)	27,766,910	26,524,686	1,242,224
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 594,899	1,330,291	△ 1,925,190
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	△ 594,899	1,330,291	△ 1,925,190
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産修正益	—	359,640	△ 359,640
経常外収益計	—	359,640	△ 359,640
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	—	1	△ 1
経常外費用計	—	1	△ 1
当期経常外増減額	—	359,639	△ 359,639
当期一般正味財産増減額	△ 594,899	1,689,930	△ 2,284,829
一般正味財産期首残高	3,943,761	2,253,831	1,689,930
一般正味財産期末残高	3,348,862	3,943,761	△ 594,899
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
特定資産運用益	956	1,029	△ 73
受取寄付金	3,026,088	3,053,436	△ 27,348
一般正味財産への振替額	△ 2,033,779	△ 2,724,624	690,845
当期指定正味財産増減額	993,265	329,841	663,424
指定正味財産期首残高	67,276,826	66,946,985	329,841
指定正味財産期末残高	68,270,091	67,276,826	993,265
<b>III 正味財産期末残高</b>	71,618,953	71,220,587	398,366

# 正味財産増減計算書内訳表

自 令和 2 年 4 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	42,500	-	42,500	-	85,000
受取会費	271,000	-	-	-	271,000
事業収益	169,898	-	-	-	169,898
受取補助金等	37,516,620	-	7,635,818	-	45,152,438
受取寄付金	2,033,779	-	-	-	2,033,779
雑収益	-	-	11,635	-	11,635
経常収益計	40,033,797	-	7,689,953	-	47,723,750
(2) 経常費用					
事業費	40,569,472	-	-	-	40,569,472
管理費	-	-	7,749,177	-	7,749,177
経常費用計	40,569,472	-	7,749,177	-	48,318,649
(うち人件費)	24,320,048	-	3,446,862	-	27,766,910
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 535,675	-	△ 59,224	-	△ 594,899
評価損益等計	-	-	-	-	-
当期経常増減額	△ 535,675	-	△ 59,224	-	△ 594,899
他会計振替額	824,889	-	△ 824,889	-	-
当期一般正味財産増減額	289,214	-	△ 884,113	-	△ 594,899
一般正味財産期首残高	147,444	-	3,796,317	-	3,943,761
一般正味財産期末残高	436,658	-	2,912,204	-	3,348,862
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
特定資産運用益	956	-	-	-	956
受取寄付金	3,026,088	-	-	-	3,026,088
一般正味財産への振替額	△ 2,033,779	-	-	-	△ 2,033,779
当期指定正味財産増減額	993,265	-	-	-	993,265
指定正味財産期首残高	42,276,826	-	25,000,000	-	67,276,826
指定正味財産期末残高	43,270,091	-	25,000,000	-	68,270,091
<b>III 正味財産期末残高</b>	43,706,749	-	27,912,204	-	71,618,953

# 貸 借 対 照 表

令和 3 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 資 産 の 部</b>			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	3,307,629	6,195,485	△ 2,887,856
棚 卸 資 産	1	1	-
未 収 金	1,453,178	235,083	1,218,095
流 動 資 産 合 計	4,760,808	6,430,569	△ 1,669,761
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
投 資 有 価 証 券	50,000,000	50,000,000	-
基 本 財 産 合 計	50,000,000	50,000,000	-
(2) 特 定 資 産			
おうみNPO活動基金積立金	183,122	167,548	15,574
びわこ市民活動応援基金積立金	9,287,517	9,836,638	△ 549,121
積水化成品基金積立金	460,075	460,071	4
笑顔あふれるコープしが基金積立金	840,408	1,060,399	△ 219,991
日本の元気なきずなプロジェクト基金積立金	88	88	-
ナカザワNEOフレンドシップ基金積立金	448,003	547,999	△ 99,996
げんさん食育NPO基金積立金	540,041	520,038	20,003
湖国文学活動応援むらさき基金積立金	440,044	440,040	4
びわ湖の日基金積立金	2,512,599	1,213,874	1,298,725
びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金積立金	807,818	779,011	28,807
ネットワークセンター運営基金積立金	3,389,471	3,034,120	355,351
特 定 資 産 合 計	18,909,186	18,059,826	849,360
(3) そ の 他 の 固 定 資 産			
什 器 備 品	2,453,280	2,453,280	-
減 価 償 却 累 計 額	△ 2,231,009	△ 2,156,922	△ 74,087
電 話 加 入 権	382,136	382,136	-
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計	604,407	678,494	△ 74,087
固 定 資 産 合 計	69,513,593	68,738,320	775,273
資 産 合 計	74,274,401	75,168,889	△ 894,488
<b>II 負 債 の 部</b>			
1 流 動 負 債			
未 払 金	1,698,094	3,554,238	△ 1,856,144
前 受 金	30,000	-	30,000
預 り 金	388,594	394,064	△ 5,470
流 動 負 債 合 計	2,116,688	3,948,302	△ 1,831,614

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
2 固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	538,760	—	538,760
固 定 負 債 合 計	538,760	—	538,760
負 債 合 計	2,655,448	3,948,302	△ 1,292,854
Ⅲ 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
指 定 正 味 財 産 合 計	68,270,091	67,276,826	993,265
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(—)
(うち特定資産への充当額)	(18,270,091)	(17,276,826)	(993,265)
2 一 般 正 味 財 産			
一 般 正 味 財 産 合 計	3,348,862	3,943,761	△ 594,899
(うち特定資産への充当額)	(639,095)	(783,000)	(△ 143,905)
正 味 財 産 合 計	71,618,953	71,220,587	398,366
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	74,274,401	75,168,889	△ 894,488